会　議　録

<table>
<tr><td>会議の名称</td><td colspan="2">令和７年度第１回垂水市介護保険運営協議会</td></tr>
<tr><td>開催日時</td><td>令和７年７月 28 日（月）</td><td>午後３時から午後４時まで</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td colspan="2">垂水市商工会　２階会議室</td></tr>
<tr><td>委員
出席者</td><td colspan="2">大隅地域振興局保健福祉環境部長　四元　俊彦
（代理出席　大隅地域振興局地域保健福祉介護保険指導係長　奥　幸代）
垂水市立介護老人保健施設コスモス苑　施設長　福本　伸久
垂水市社会福祉協議会　会長　谷口　敏徳
垂水市民生委員協議会　副会長　北迫　千代子
垂水市立介護老人保健施設コスモス苑　支援相談員　池田　正樹
養護老人ホーム　垂水華厳園　計画作成担当者　川越　千恵美
地域住民代表（中央・水之上・大野地区）　中馬　吉昭
地域住民代表（新城・柊原地区）　児玉　成子
介護保険サービス利用者の家族代表　前田　政博
第二号被保険者代表　池田　みすず</td></tr>
<tr><td rowspan="4">委員以外の
出席者</td><td colspan="2">垂水市長　尾脇　雅弥</td></tr>
<tr><td colspan="2">福祉課長　新屋　一己</td></tr>
<tr><td colspan="2">福祉課地域包括ケア係
市木秀俊係長、平嶺絵里加保健師、平石明子主任ケアマネ、上久保則雄社会福祉士</td></tr>
<tr><td colspan="2">福祉課介護保険係　前田恭仁子係長、前田康晴副主幹、小池誉主査</td></tr>
<tr><td>会議事項等</td><td colspan="2">１　開　会
２　市長あいさつ
３　委員の委嘱
４　会長・副会長の選出
５　議　題
⑴　介護保険事業計画等の令和６年度実績等について
⑵　第９期介護保険事業計画等の進捗状況について
⑶　保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金に係る評価指標について
６　その他</td></tr>
<tr><td rowspan="5">会議の経過</td><td>発言者</td><td>意見等</td></tr>
<tr><td>事務局
（前田）</td><td>定刻になりましたので、ただ今から、「令和７年度第１回垂水市介護保険運営協議会」を開催いたします。
会次第に沿って、進めたいと思います。
それでは、会次第２の「開会のあいさつ」にまいります。垂水市長の「尾脇雅弥」が開会のあいさつを申し上げます。</td></tr>
<tr><td>市長</td><td>あいさつ</td></tr>
<tr><td>事務局
（前田）</td><td>続きまして、会次第３「委員の委嘱」にまいります。
この度、人事異動に伴い、２名の委員の方を新たに委嘱しました。その他の皆様は、昨年から継続して委嘱しております。改めて、お名前を読み上げて紹介させていただきます。名簿順にご紹介いたします。
（各委員紹介）</td></tr>
<tr><td>事務局</td><td>本来ならば、委嘱状をお一人お一人にお渡しすべきところではございますが、</td></tr>
</table>

	（前田）	会議の時間も限られておりますことから、失礼ながら、２名の委員におかれましては机上へ配布させていただきました。 本日は、委員14名中10名の委員が出席しておりますので、垂水市介護保険運営協議会設置要綱第６条第２項の規定により、本会議は成立していることを報告いたします。また、鹿児島県大隅地域振興局保健福祉環境部長の四元委員の代わりに、鹿児島県大隅地域振興局地域保健福祉課介護指導係長の奥様が出席されていますので、重ねてご報告申し上げます。 続きまして、会次第４「会長・副会長の選出」にまいります。 ここからは福祉課長が進行させていただきます。
	新屋課長	２名の委員につきましては、このたび委員をご承諾いただき、誠にありがとうございます。また、本日はお忙しい中、運営協議会へご出席いただき、重ねてお礼申し上げます。 垂水市介護保険運営協議会設置要綱第５条第１項の規定により、本会議に会長及び副会長を置くことになっております。会長は昨年度に引き続き池田みすず委員にお願いいたします。副会長を自薦及び他薦どちらでも構いません。候補者になる方いらっしゃいませんか？ （いないのを確認） それでは事務局からの提案として、谷口委員にお願いしたいと思いますがよろしいでしょうか？ （拍手の音） それでは、会長を池田みすず委員、副会長を谷口敏徳委員に決定しました。それでは、池田会長よろしくお願いします。
	会長	（議長席へ移動） あらためまして、おつかれさまです。会長を務めさせていただくことになりました、池田と申します。本会議がとどこおりなく進行できますよう、みなさまのご協力をよろしくお願いします。 それでは、会次第５の「議題」にまいります。「介護保険事業計画等の令和６年度実績について」事務局から説明をお願いします。
	事務局 （小池）	議題⑴　説明
	会長	ただ今の説明に対して、ご意見・ご質問はありませんか。 （質問無し） ないようですので、議題２にまいります。「第９期介護保険事業計画等の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。
	事務局 （小池）	議題⑵　説明
	会長	ただ今の説明に対してご意見ご質問はありませんか。
	谷口敏徳 委員	基本方針６の介護人材確保について、市の取組状況をお聞かせください。
	事務局 （前田恭）	現在、市で行っているものとしては、地域包括支援センターで県内学生の受入を行っているところです。 また、現在検討中のものとして、市内介護事業所に従事する介護職員の資格取得及び更新等にかかる費用、その他スキルアップ研修受講に係る一部補助を行うことで介護事業所に従事する方の職場への定着を支援することを目的としております。 補助対象者については市内介護事業所に従事している方、または費用負担を行った事業所となっております。 また、市の取り組みとして、垂水市と株式会社タイミーが連携協定を結ぶ予定です。目的は基幹産業での労働力不足やスキマ時間の活用等、多様な働き方に対

		する課題の解決を図るため、スキマ時間を活用して働くスポットワークを提供する求人サービスを提供する会社です。1日1時間から2時間でも募集可能で調理・掃除・送迎など資格不要な仕事でも求人することができます。 　来月、市内事業所を対象に説明会を開催し、株式会社タイミーのサービス説明、活用事例の紹介を行う予定です。このような取り組みを利用することにより、少しでも介護人材不足の解消につながればと考えております。
	中馬吉昭委員	人材確保の事業について、運営のキャパシティはあるが人材がなくて困っている状況だと伺っていますので、検討中ということですが、できるだけ早く実施されることを望みます。 　また、生産性向上ということも書いてありますが、言葉の意味は分かりますが、具体的にどのようなことでしょうか。
	事務局(新屋)	生産性向上とは、人材を確保・増やすのが難しいというところで、今いる人材で多くの仕事に対応しようということです。ICT活用や介護ロボットを活用しながら仕事の生産性をアップさせるという考え方です。
	中馬吉昭委員	スタッフの仕事の対応範囲を広げるということですか。
	事務局(新屋)	結果的にそういうことにつながると思います。 もっと具体的に言うと、手書きで時間をかけて書いていたものをシステムで管理することによりボタン一つで報告が終わったり、都度つど電話で報告していたものがカードをかざすことで報告に代えられたりといったことで、仕事の効率を上げて生産性をあげようというものです。
	福本伸久委員	基本的にお金がかかる、タダではできない。介護現場は苦しい状況です。ICT化といった方向性は提示されるがそれに対しての補助が出てこないので、結局何もできないのが現状です。
	事務局(前田恭)	垂水市独自の補助金としては、先ほど説明した検討中のものしかありませんが、生産性向上の件で言われた件に関しましては、県の補助事業がございまして、介護ロボット導入支援事業、これは介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など、介護従事者が継続して就労するための環境整備を目的としています。あともう1つ、介護サービス事業所のICT導入支援事業があり、こちらも県の補助事業が準備してありますので、活用していただければと思います。
	会長	ほかにありませんか？
	前田政博委員	非常に人材確保が難しいという話は私も以前からよく耳にしますが、それに対して市側が補助金なりを出すというのもまた簡単ではないと思います。私は家族代表という立場で委員となっていますが、資料には各施設の実態というのは見られません。家族代表としては、施設が無くなったり減少したりするのはちょっと心配。働くスタッフも高齢になっていくし、現実問題として継続的に働けるのかなと思ったりします。 　できれば市のほうで各施設の実態を調べてほしいと思います。そうすれば具体的にどれだけ人材が不足しているか、どのようなことが課題なのかが見えてくると思うので、実態調査の実施を検討していただいて資料としてこの会に提供いただけませんか。
	福本伸久委員	実態調査の件で、垂水市でも介護分野に外国人在が12名働いていらっしゃる。給与以外に一人当たり100万円ほどの持ち出しがあるということ。さらに3年すると帰国するので、そのたびにお金がかかるという話も聞いています。
	会長	事務局から何かありませんか。
	事務局(前田恭)	実態調査について、貴重なご意見ありがとうございます。持ち帰って検討させていただきたいと思います。
	会長	ほかにありませんか？ 　ないようですので、議題(3)「保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努

		力支援交付金に係る評価指標について」事務局から説明をお願いします。
	事務局 (小池)	議題(3)　説明
	会長	ただ今の説明に対してご意見ご質問はありませんか。
	谷口敏徳 委員	この表を見ますと垂水市が０のところもありますが、今後の課題等がありましたら教えてください。
	事務局 (市木)	地域包括ケア係の市木と申します。よろしくお願いします。 この採点結果について課題や今後の取組ですが、この交付税の評価方法は国のほうで定めておりまして、とても複雑になっております。例えば認知症サポーターについてですが、６年度実績で 270 人の新たな登録があったと報告しましたが、評価としては０点とされております。これは全国でも上位の自治体しか配点されないようになっており、本市も一所懸命取組んでいますが、実際は点数にならないという部分もございます。29 頁に記載しておりますが、地域包括支援センターの課題としましては、地域ケア会議として困難ケースについて開催することとしており、その分析の積み上げによって地域全体としても課題解決の確保につなげていくという目的のある会議ですが、開催していないのが現状であります。今後は医療・介護・地域の関係者が現状を把握した上で、将来どのような介護サービスが必要になるかというのを話し合う必要があると思っております。また、在宅医療・介護を一体的に提供できる体制の構築のためにも、関係者で現状把握するためにまずは協議検討を重ねてまいりたいと考えております。
	中馬吉昭 委員	交付金額について聞きそびれたのでもう一度教えてください。
	事務局 (小池)	機能強化推進交付金は 160 万 5 千円で、努力支援交付金は 293 万 3 千円です。
	会長	他に質問はありませんか。
	北迫千代 子委員	先日の話ですが、90 歳の一人暮らしの方で見守っている方なのですが、ちょっとしたことで救急車呼んだりして年々認知症が進んでいるようで、つい先日も警察にお世話になりました。私の自宅からは車で行く距離なので、救急の場合など、隣の方に対応を頼んでいましたが、もうこれ以上面倒は見られないとの弁でした。そこで、認知症サポーターについてですが、サポーターを増やすのがとても大事なことだと思います。私が民生委員になった頃にこの養成講座が始まって、当時民生委員は全員受けるように案内が来ました。認知症を理解するために必要な講座だと思いました。ただ、民生委員として私が一人で認知症の方を対応するのは難しいことも出てきました。そこで、私の地域にサポーターの方がいらっしゃれば、個人情報にはなると思いますが、教えていただければお手伝いが欲しい時があるものですから。
	会長	認知症サポーターの方はそういった対応できるような研修をうけてらっしゃいますか。
	事務局 (市木)	認知症サポーター養成講座は、老人クラブやサロンなどを対象に開いておりますが、追加の研修などは今のところない予定です。ただ民生委員の方が地域のサポーターを把握されたいということは検討させていただきたいと思います。
	福本伸久 委員	池田くん（池田正樹委員）が認知症サポーターについては詳しいと思いますが、サポーターの方々はどのレベルまで、どのような範囲までサポートすることができますか。
	池田正樹 委員	講座で学ぶのは、認知症の基礎・病気の理解と簡単な対応の仕方、後ろから急に声をかけないとか。そういうことを学んだ方には証明としてオレンジ色のリングを配ったり。ボランティアの精神ですよね。
	福本伸久 委員	あくまでも、道路歩いている人で様子がおかしそうな方がいたら、ひょっとしたら認知症じゃないかなと声掛けしたり、相談につなげたりという程度じゃない

<table>
<tr><td rowspan="3"></td><td></td><td>でしょうか。暴れているから手伝ってというような実践で役立つかどうかというのは非常に疑問です。もう少し実践的な対応を求めるにはさらに勉強会とか研修とかが必要になるのではないかと思います。
　また、地域のサポーターの情報は個人情報になるので事前に情報を提供してよいかどうか了承を得る必要があると思います。やはりあくまでもボランティアなので中々現状では難しいかと思います。</td></tr>
<tr><td>会長</td><td>　ありがとうございます。他にありませんか。
　ないようですので、会次第6「その他」に移ります。委員から何かありませんか。
　それでは、議題はすべて終了しましたので事務局にお返しします。委員の皆様ご協力ありがとうございました。</td></tr>
<tr><td>事務局
（前田）</td><td>　池田会長ありがとうございました。最後に、次回の介護保険運営協議会は、令和7年11月に開催を予定しております。日程が決まりましたら、委員の皆様に案内いたします。
以上をもちまして、令和7年度第1回介護保険運営協議会を終了します。ありがとうございました。</td></tr>
<tr><td>会議結果</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>会議録の作成方法</td><td colspan="2">■　録音媒体を使用した全文記録
□　録音媒体を使用した要点記録
□　要点記録</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特記事項</td><td colspan="2">なし</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
</table>